

任期制退職自衛官の声



Kiyota Haruka
清田 明花 様

役職：ハイヤードライバー
勤務地：ハイヤー品川支店
陸上自衛隊にて任期満了退職
即応予備自衛官として活躍中

Q 現在、どんなお仕事をされていますか？

現在は、都内を中心にハイヤードライバーとして勤務していて、入社3年目になります。また休日は、即応予備自衛官として武山にある第31普通科連隊施設中隊に所属し、訓練に参加させていただいています。

Q どのようなきっかけで現在のお仕事を決めましたか？

実は、元々運転は苦手な分野でした。自衛隊時代に施設科だったため、東富士の演習場などで運転を必要とする場面が多くあったこともあり、大型免許を取得することになりました。その時の車長の方がすごく良い方で、少しずつ運転に自信がついてきて、自衛隊の中で大型免許(※自衛隊車両に限る)を取得することができました。

運転嫌いだった自分でも、大型がとれるんだと嬉しくなり、そこから一気に運転することが好きになりました。

また、祖父がタクシーの運転手をやっていたこともあり、運転技術を生かした仕事に就きたいと思い始めた頃、**首都圏の合同企業説明会に参加**しました。広い会場内を3周近くいろいろなブースを見て回りました(笑)。

運送系のお仕事のブースもありましたが、どうせなら地元(長野県)にはない仕事をしてみたいという気持ちから、東京ならではのハイヤー・タクシーの仕事に興味を持ち、中でも弊社の福利厚生や給与面の充実の魅力を感じて決めさせていただきました。



任期制退職自衛官の声

Q 再就職後、どのような苦勞がありましたか？

お客さまをお迎えする際に、建物の前に車を停めて、車の前に立ち、手を前に揃えてお待ちするのですが、自衛隊での「休め」の姿勢がしっかり身についていたため、前に手を組むことが不慣れで少し大変でした(笑)。



また、弊社では入社後にタクシー研修があり、一般的には概ね2か月程度で研修が終わるのですが、私の場合は3~4か月程度かかりました。都内の道が分からなかったり、時間の制約があったり、ブレーキ・アクセル・ハンドルにも細かな操作が求められるので、最初はかなり苦戦しました。時間こそかかりましたが、研修は実戦形式で、マンツーマンでしっかり教えていただけだったので、本当に手厚かったですし、**自衛隊の車長のように横に乗っていただけなので、安心感も大きかったですね。**

また、初めて行く場所も、先輩方に聞いたら、その目的の建物のみならず、建物内のことや、帰り道の最短経路を教えて下さったりと、韓国料理のように1つ頼むと3つ付いてくるみたいなお得感(笑)。本当に1つ聞いただけなのにたくさんの情報を快く教えて下さる方が多いので大変有難いです。

いまだに、運転する際に苦手なエリアがあるのですが、休日の遊びついでにそのエリアを歩いてみて、なんとなくですが、目に焼き付けておいたりしています。そうすることで、実際に運転する時に「この道、確かこうだったなあ」と覚えていて、**道と道が頭の中で繋がってくる感覚**があり、とても楽しく感じられます。

Q ドライバーのお仕事で心がけていることはありますか？

完全予約制のドライバーですので、**そのお客様に応じたオーダーメイドの車内空間**を心がけています。ご利用が初めてのお客さまもいらっしゃいますが、基本的にはリピーターのお客さまが主です。寡黙な方、お話好きな方など、車内での過ごし方も本当に様々ですから、そのお客様に応じた対応を心がけています。

また、弊社ではバックミラー越しにお客さまと目が合わないよう、少しだけ上目にミラーをずらすことを指導されています。私は、常にお客さま目線に立つことを意識しながらも、お客さまが乗車中に寒くないか、暑くないかなどを、目が合わないようさりげなくご様子を確認させていただいております。

任期制退職自衛官の声

Q 自衛隊の経験が生かされていることは何でしょうか？

ずばり、鋼のメンタルです。あとは**睡眠**ですね。

自衛隊の先輩方がよく訓練中に「寝れるときに寝ろ」と言っていたことが当時はなかなか理解できませんでしたが、本当に睡眠は大事だなということを再就職してから感じるが増えました。訓練や演習と同じで、早朝であったり夜間に働くことがあります。どんな時間帯であっても、きちんとお客様を安全かつ確実に送迎することが仕事ですので、**パフォーマンスを落とさないためにも、メリハリをつけてしっかり寝ること・休むことを意識しています。**

Q 即応予備自衛官になったきっかけ、また今後の目標を教えてください。

元々、自衛隊に興味を持ったきっかけは、東日本大震災後に何気なくテレビを見ていたら、自衛官が相当なスピード感で現地で作業を行っていて衝撃を受けたことでした。また、高校時代の先輩が自衛官になったことで「意外と身近に自衛官っているものなんだなあ」と感じたことも入隊への大きな要因です。

任期満了退職後も体を動かすことが好きなところはずっと変わりませんでした。職業柄、体を動かすことがなかったので、思い切り体を動かして走り回りたいなと思いましたし、弊社が**即応予備自衛官の訓練参加に理解があり、休暇の取得に関して非常に協力的なため、安心して志願できました。**

現在は、武山にある第31普通科連隊の施設中隊に所属しています。年間30日の訓練については、4月から、休暇の調整に快く応じていただけたことでコツコツと参加してきたこともあり、あと少しで達成できそうです。

目標は、即応予備自衛官を定年まで勤めあげることです。



任期制退職自衛官の声

Q 今後、ドライバー職を希望する現役自衛官へ伝えたいことはありますか？

ドライバーの仕事を通じて、本当にたくさんの場所へ訪れることができること、**その土地のいろいろな景色をみる**ことができることが、この仕事の最大の魅力です。

都内のみならず、お客さまのニーズにあわせてゴルフの送迎などもあり、関東エリアを広く運転することができます。プライベートでも遠出することがありますが、**電車では見れない景色、車だからこそ、あらゆる街の中に入り込める**ことができます。「この街の雰囲気良いな」とか「今度引っ越すとしたらここも良いな」と、自分なりに楽しむことができることがドライバーならではの醍醐味だと思います。

入社すれば二種免許も取得できますし、福利厚生も充実していますので心構えのみで問題ありません。

弊社では、嬉しいことに、ここ数年で女性のドライバーの割合がかなり増えました。トイレや更衣室なども綺麗に整備されています。ドライバーというと、どうしても男性のイメージが強いと思いますが、**是非女性も気兼ねなく挑戦**していただきたいです。



Q 今後、退職を迎える現役自衛官へ何かアドバイスはありますか？

皆さんが自衛隊に入隊したときのあの初心を思い出していただければ問題ありません。ほとんどの企業様では入社後に、必須資格やスキルアップに必要な資格を会社負担で取得できる時代です。

私自身、3年前に首都圏の合同企業説明会に参加し、今では自衛官OBとしてブースに立つ側を経験させていただきました。当時、自衛官として参加した際にはなかった多種多様な業種の企業様が現在の合同企業説明会には参加しています。

首都圏は求人の幅も広いので、自分に合う仕事が見つかるかもしれません。**是非、合同企業説明会の参加をお勧め**します。きっと、求人媒体では見つからない思いがけない出会いがあるはずですよ。